

令和4年1月

「鶴ヶ丘地区の中学校の学区について」

現在、私達家族は鶴ヶ丘に在住しており、子供が第二小学校に通っているのですが、私の住んでいる地区の中学校の学区は南中学校となる予定です。

しかし第二小学校に通っている学区の児童のほとんどが藤中学校になるそうで、私の住む鶴ヶ丘のごく一部の地区の児童だけが別の中学校に分かれてしまう事になります。私の住む鶴ヶ丘地区の児童は非常に少なく、孤立した状態で中学に入る事となるため藤中学校への学区も選択できるようにできないものではないでしょうか。

令和4年4月

「鶴ヶ丘の子ども達も藤中学校区にして頂きたい」

現在、鶴ヶ島第二小学校に通っている子を持つ親です

自宅が鶴ヶ丘で、今のままですと中学校は南中に通うことになります。第二小学校の一部の子ども達だけが南中に行くことになります。学年で一人とかのこともあるようです。

南中に行くと、南小の子どもばかりの中に馴染めなく、学校に行きづらくなったり表面では解りづらいいじめもあるそうです。

現在小学校は114号線で分かれています、中学校は大谷川で分かれています。何故中学校は114号線で分けずに、大谷川で分けるのか疑問です。

藤中に行きたい子どもの為にわざわざ中学校の時期だけ引越す家庭もあります。

昭和の子どもが多かった時代とは違い、少子化で子どもの横の繋がりやお友達との接し方も色々変わってきています。

特に鶴ヶ島第二小学校は男女問わず仲良しです。

鶴ヶ丘の子ども達や親は藤中に行けることを切に願っています。

※「市長へのメール」とは。

市民が市政について、日ごろ感じていることや考えていることを、市長に直接問い合わせするものです。担当する部署で検討後に、市長の了解を経て回答します。